

かごたせき ちいきしげん ほぜんかい

籠田堰地域資源保全会（上田市）

・組織の活動面積 A = 8.8 ha	組織形態	農地維持 <input checked="" type="checkbox"/>	資源向上(共同) <input type="checkbox"/>	資源向上(長寿命化) <input type="checkbox"/>
・組織の構成員数 約 54 人	取組開始年度	平成26年～		
構成員	農家(水利組合員)54人			

組織の概要

当保全会は、太郎山、砥石米山城跡、烏帽子岳を望む、上信越道上田インターに近接した、国道144号神科バイパス、国道18号上田バイパス及び矢出沢川に囲まれた上田市の神科地区北西部に位置します。昭和30年代までは、のどかな田園地帯でしたが、経済成長と道路整備により宅地化が進み、これらの住宅団地等から流出する雨水排水が、ゴミ類と共に全て用水路に流入してきます。この清掃、泥上げ等の維持管理に苦慮しています。更に、雷雨等豪雨時には、道路からの雨水も流入するため、越水による浸水、施設の損壊が発生しています。また、構成員の高齢化と後継者不在が顕著になってきています。保全地域全体の用水路・農道等の維持管理の効率化・省力化を図り、構成員個々の労力軽減を目途に、定期的な施設の清掃・草刈等の活動をしています。

都市化と共生しながら豊かな農地をまもる

用水流域の宅地化と道路整備が進み、流入する土砂、ゴミ等が、特に取水口近辺に堆積。定期的に泥上げ作業をしています。幹線となっている水路は、宅地開発された団地内を通るため、周辺の環境美化活動を兼ねて作業をしています。



流入するゴミが、用水路の流れを阻害。河川や用水路へのゴミ等の投棄増加の対応で、清掃・除去に相当の労力が必要です。

後継者不在の休耕田が荒廃地化しないよう草刈作業をし水田耕作の受託者を斡旋する活動もしています。

